

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2004-291564(P2004-291564A)

【公開日】平成16年10月21日(2004.10.21)

【年通号数】公開・登録公報2004-041

【出願番号】特願2003-90201(P2003-90201)

【国際特許分類第7版】

B 3 2 B 5/00

B 2 9 C 63/34

F 1 6 L 55/16

// B 2 9 K 105:06

B 2 9 L 9:00

B 2 9 L 23:00

【F I】

B 3 2 B 5/00 Z

B 2 9 C 63/34

F 1 6 L 55/16

B 2 9 K 105:06

B 2 9 L 9:00

B 2 9 L 23:00

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月15日(2005.6.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】結合ライナー

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プラスチックフィルムの内外面に不織布を接着するとともに、外面に補強材又はスペーサを取り付けて構成されることを特徴とする結合ライナー。

【請求項2】

前記補強材及びスペーサは、エキスパンドメタル又はラスで構成されることを特徴とする請求項1記載の結合ライナー。

【請求項3】

前記補強材又はスペーサは、不織布を熱溶着又は接着することによって取り付けられることを特徴とする請求項1又は2記載の結合ライナー。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

**【補正の内容】****【0001】****【発明の属する技術分野】**

本発明は、結合ライナーに関するものである。

**【手続補正4】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0008****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0008】**

本発明は上記問題に鑑みてなされたもので、その目的とする処は、ライニング材に作用する引張力を補強材又はスペーサに負担させることによってライニング材の厚さを最小限に抑え、施工性の改善とコストダウンを図ることができるとともに、ライニング材と管路又はマンホールとの一体化を図ることができる結合ライナーを提供することにある。

**【手続補正5】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0012****【補正方法】削除****【補正の内容】**